



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			8月19日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2050	3.2000	3.2350	3.2240	3.2340	+0.0100
	BRL/JPY	Spot	31.26	31.34	30.99	31.14	31.08	-0.06
	EUR/USD	Spot	1.1326	1.1321	1.1306	1.1265	1.1282	+0.0017
	USD/JPY	Spot	100.21	100.32	100.24	100.42	100.52	+0.10
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.824	13.822	13.822	13.832	13.826	-0.006
	Future	1Year(p.a.)	13.137	13.120	13.118	13.097	13.131	+0.033
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.083	1.999	2.097	2.230	2.208	-0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.250	2.194	2.222	2.272	2.351	+0.079
株式	Bovespa指数		59099	57781	58020	57718	57722	4
CDS	CDS Brazil 5y		253.00	254.53	254.88	260.39	261.66	+1.27
商品	CRB指数		188.780	187.081	188.375	185.746	186.243	+0.50

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
ローン残高(前月比)	--	-0.4%	-0.6%
融資残高	--	3116b	3129b
個人ローンデフォルト率	--	6.2%	6.2%
登録雇用創出合計	-90000	-94724	-91032
(米)新規失業保険申請件数	265k	261k	262k
(米)耐久財受注(前月比)	3.4%	4.4%	-4.2%
(米)マーケット米国サービス業PMI	51.8	50.9	51.4
(米)マーケット米国コンポジットPMI	--	51.5	51.8

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

テメル伯暫定大統領	ブラジルの輸出セクターに打撃を与えるレアルの急騰は許容できないが、特定の為替水準を約束することはしない。
-----------	--

4. トピックス

- 本日のレアルは3.2240で寄り付き、直後に日中高値3.2170を示現した。伯中銀のドル買い介入で安値となる3.2410まで下落するも、9月のOPEC会合にイラン石油相が出席するとの報道を受けて原油価格が上昇するとレアルも反発。大統領弾劾採決やイエレンFRB議長講演の講演を控えて様子見ムードとなる中、その後のレアルはレンジ内取引に終始し、3.2340でクローズした。
- 伯上院でのルセフ大統領の弾劾最終採決の審議が本日予定通り開始された。弾劾成立後にテメル政権による構造改革の動きが強まると期待されているが、市場は既に弾劾を織り込んでいるとの見方も多い。現時点では最終結果は9月1日に明らかになる見込み。
- 明日、米ワイオミング州のジャクソンホール行われる予定のイエレンFRB議長講演を控えて市場は膠着相場となっている。カンザスシティ連銀総裁は利上げの正当性を改めて表明し、ダラス連銀総裁も追加利上げの根拠が強まりつつあるとの認識を示した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお問い合わせ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。